

秋川駅周辺の活性化 について



中村 一広

平成7年3月に西秋留駅北口地区土地区画整理事業が終わり、あきる野とうきゅうの進出や秋川キララホール、あきる野ルピアなどの公共施設ができて20年余りが経過した。あきる野市の中心市街地として目覚ましい発展を遂げてきたが、経済状況の低迷などにより、地域の元気が失われつつあるように感じている。今後の更なる活性化について見解を伺う。

として、秋川駅北口、南口ロータリーを中心としたイルミネーション事業や、両商店会で連携した新たな事業の検討を始めている。社会情勢や商業を取り巻く環境などが大きく変化しているが、秋川駅周辺地区は、本市の商業の中心地区であり、今後も秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会の方々と協働で、秋川駅南口を含めた秋川駅周辺地区の活性化策に取り組んでいきたい。

他に市の防災対応について質問した。



A 秋川駅周辺地区の活性化策

Q 秋川駅北口地区及び南口地区の現状、また今後の見通しは。

地域包括ケアシステム 構築について



増崎 俊宏

東京都福祉保健局では、毎年、都内各市町村に対し、在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況についての調査を実施し、その結果を公表している。本事業の事業項目は、「地域の医療・介護の資源の把握」や「地域住民への普及啓発」などの8つに分かれているが、平成30年4月には全ての事業項目を全ての区市町村で実施とされている。

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築へ向けた取り組み状況は。

A アンケートにより市内各医療機関の緊急時の24時間対応条件や往診条件、訪問診療等を把握した。その情報について、医療・介護関係者が必要に応じて確認できるように、あきる野市医療・介護地域連携支援センターのホームページ上で情報提



Q 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築へ向けた取り組み状況は。

他に生活援助について質問した。